

参加者の声

自分の普通や当たり前は、他国では全く違うことを理解し、自分達でも何か役に立つ事があるのではないかと思った。また、今まで人の前に出て何かを積極的にする事は避けてきたが、新しい事に挑戦したいという気持ちが強くなった。

Diversity Voyageを通してコミュニケーション能力に自信がついた。これからは自分が主体となって企画をしたり、たくさんの人と会話をするなど、交流を通じて自分にさらに自信をつけていき、相手に影響力を与えられるようになりたい。

プログラム参加前は海外の人は怖い、話しかけにくいという印象を持っていた。しかし現地の人と交流する中で、共通の話題で盛り上がり、様々な場面で優しさや思いやりを感じ、もっと多くの世界の人々のことを知りたいと思うようになった。

生まれた国、育った国の差異は関係なく、相手のことを理解し、共感する姿勢が大切であるのだと実感した。Diversity Voyageでの体験を通して、多文化への適応力が上がり、寛容に受け入れる心を持つきっかけになった。

国際観光学部 国際観光学科

情報連携学部 情報連携学科

食環境科学部 食環境科学科

社会学部 国際社会学科

募集概要

■定員 各コース20名(最小催行人数15名)
※申し込み先着順に応募書類を選考します。
※応募受付期間中に定員に達した場合は、締め切り前に募集を終了する可能性があります。

■研修参加費
※研修参加費には研修費、現地までの往復航空券・諸税等、現地宿泊費、プログラムに含まれる食費、現地での移動費、手数料を含みます。

マレーシア・クチンコース **234,000円**
ラオス・ビエンチャンコース **274,000円**
※上記金額に含まれないものは「お申込時の注意事項」を確認してください。
※研修代金は2026年3月時点の概算です。燃油の価格改定や為替変動により今後予告なく変更となる場合がございます。

■対象 東洋大学の全学部生・大学院生

■応募要件
・特設サイト上にある『Diversity Voyageお申し込み時の注意事項』および『東洋大学国際教育センター短期プログラム誓約書』をお読みになり、同意いただける方。
・Diversity Voyageの事前研修・事後研修、応募するコースの全日程に熱意を持って参加できる方。
・事前研修: 2026年7月2日(木) 14:40~16:10(対面)
2026年7月11日(土) 終日(対面)
・事後研修: 2026年9月26日(土) 終日(対面)
・自律的に学び、自らの責任で成長する気持ちのある方。
・留学前・後の課題や手続きを期限までに対応すること。
※英語力不問(現地でのプログラムは原則全て英語です)

■参加確定までの流れ

- ① 応募
特設サイト上からアクセスできる応募フォームの内容を確認し、志望動機&必要事項を全て記入の上、お申し込みください。先着順で選考します。
《応募受付期間》2026年4月27日(月)~5月10日(日) 23:59まで
- ② 選考結果発表
申し込み先着順に応募書類を選考し、5月12日(火)に合否をお知らせします。
- ③ 参加確定手続き ※合格者に詳細をお知らせします。
参加確定前払い金(参加費のうち5万円)を指定の方法にてお支払いください。
また、参加承諾書をオンラインで確認し、提出してください。

キャンセル規定:
参加確定手続き後~出発の40日前 50,000円
出発の39日前~出発の30日前 100,000円
出発の29日前~出発前日 研修代金の70%
出発日当日または無連絡の不参加の場合 研修代金の100%

▼説明会日程一覧

■対面
対面での説明会については、会場決定後に特設サイトへ掲載します。

■オンライン

説明会参加QR

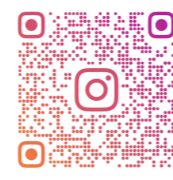


4月8日(水)	18:30-19:00
4月10日(金)	18:30-19:00
4月13日(月)	12:15-12:45 / 18:30-19:00
4月15日(水)	12:15-12:45 / 18:30-19:00
4月17日(金)	12:15-12:45 / 18:30-19:00
4月20日(月)	12:15-12:45 / 18:30-19:00
4月21日(火)	18:30-19:00
4月22日(水)	12:15-12:45 / 18:30-19:00
4月23日(木)	18:30-19:00
4月24日(金)	12:15-12:45 / 18:30-19:00
4月27日(月)	12:15-12:45 / 18:30-19:00
4月28日(火)	12:15-12:45 / 18:30-19:00
5月7日(木)	12:15-12:45 / 18:30-19:00
5月8日(金)	12:15-12:45 / 18:30-19:00

▼各コースの詳細
お申し込みは
特設サイトから!



▼最新情報は
公式インスタを
チェック!



GIFT_DIVERSITY_VOYAGE

マレーシア クチンコース
多文化共生×食

ラオス ビエンチャンコース
開発と伝統×サステナブル・ツーリズム

東洋大学国際教育センター主催

2026年夏季共創体験型プログラム

DIVERSITY VOYAGE

TGポイント対象

単位申請可能

世界に一步、
踏み出す9日間

参加費用の一部を東洋大学が支援

未来なんて、
キツカケひとつ。



私の
17歳の
カケ
あけ
の日



英語嫌いで、海外にも全く興味を持っていなかった私が17歳の時、スイスで行われたNGOの国際会議に出るチャンスを得て、英語もできないのに、たった一人で30カ国300人が集まる会議に参加しました。周りは政治家やビジネスマン、教師など立派な大人ばかり。言葉もわからず、会議の内容も理解できない中、私はこの場で最も何もできていない、この場にいる価値がないと感じながら、苦行のような日々を過ごしていました。どうにか3週間が過ぎ、最終日。感想を共有する場で、私はこう伝えました。

「世界各地の人々が集まり、世界をいかに平和にしていけるか話し合う場は素晴らしいと思いました。これからもこういう場が続いてほしいと思います。」

その瞬間、ある女性に厳しい口調でこう言われました。「何を言っているの！？あなたが続けるんでしょう！？」

その言葉は、17歳の私の心に突き刺さりました。今は力がなくても、この場で語られていることを次の世代へつないでいくのは自分なんだと、強く感じた瞬間でした。よりよい世界は、自分で、自分たちで創るもの。この原体験が、すべての始まりでした。

皆さんにとって、この夏のDiversity Voyageが、未来を変えるきっかけとなりますように。

GiFT 代表理事 辰野まどか

「15歳からの世界のとびらの開き方」(青春出版社)著者



4つの特徴

1

自分ととことん向き合う



このプログラムでは、自分の感情の動きをととても大切にしています。「自分は何を感じているのか」に向き合うことで、自分の感情に気づき、思いを言葉にする力を身につけることができます。

2

出会いと体験が盛りだくさん



現地で活躍する社会起業家のストーリーを直接聞いたり、村にホームステイをして現地の暮らしを体験したり、旅行ではできない体験ばかりの9日間です。

3

現地の仲間とチームで共創



現地の仲間と5~6人でチームを組み活動します。9日間のプログラムのうち、彼らと過ごす時間は60時間以上！お互いの思いを重ね合わせながら、自分たちならではのアイデアをチームで考え、創り上げる実践体験ができます。

4

現場の“誰か”にアイデアを届ける



現地の社会起業家や現地の教育者のストーリーを聞いて、彼らの人生や活動への想いと、その原点に触れます。その上で、参加者自身の視点でアイデアを考え、オリジナルのアイデアを直接“誰か”に届けます。

マレーシア クチンコース



参加費用: 234,000円

多文化共生×食

2026年8月28日(金)~9月5日(土) <9日間>

「City of Unity」と呼ばれるマレーシア・クチンで、“食”を切り口に多文化共生を探究。社会起業家や子どもたちとの出会い、村でのホームステイを通して文化や暮らしに触れ、つながりを実感します。体験から得たヒントをもとに、未来につながる共生のアイデアを創り出します。違いを超えて共に生きるヒントを、自らの体験を通して見つけてみませんか。

ラオス ビエンチャンコース



参加費用: 274,000円

開発と伝統×サステナブル・ツーリズム

2026年9月9日(水)~9月17日(木) <9日間>

伝統文化と自然が息づくラオス・ビエンチャンで、「サステナブル・ツーリズム」をテーマに探究します。現地の人々との出会いや村でのホームステイを通して、暮らしや価値観に触れ、持続可能な観光のあり方を体感。そこで得た気づきをもとに、伝統と観光の両立という問いに向き合いながら、未来へつながるツーリズムのアイデアを共創します。

プログラムの流れ

- Day1
 - ・ 出国、移動
- Day2
 - 【自分を知る・相手を知る】
 - ・ プログラムオリエンテーション
 - ・ ダイバーシティ・ダイアログ
 - ・ チームビルディング研修
- Day3
 - 【テーマについて深める】
 - ・ 現地で活動するキーパーソンと出会う
 - ・ ダイバーシティ・ウォーク (フィールドリサーチ)
- Day4
 - 【体験する】
 - ・ 村でのホームステイ体験
 - ・ 村でのフィールドワーク
- Day5
 - 【共に創る-チームで深める】
 - ・ フィールドリサーチ
 - ・ チームダイアログ
 - ・ プレゼンテーションの準備
- Day6
 - 【共に創る-チームでつくり出す】
 - ・ 発表内容のシェアリング
 - ・ 仲間からのフィードバック &さらなるブラッシュアップ
- Day7
 - 【社会に還元する】GiFT Day
 - ・ シェアリングセッション(発表)
 - ・ チームメンバーとの振り返り
- Day8
 - 【振り返り】
 - ・ 体験を言語化する個人振り返り
 - ・ 振り返りワークショップ
- Day9
 - ・ 移動、帰国

※スケジュールの詳細は、現地の状況により変更になる場合もあります。